session 1

UNIVERSITY OF CAMBRIDGE DIGITAL LIBRARY

『三座せりふよせ Sanza serifu yose』を読んでみる

「根源今川状　書物づくしせりふ」

NIJL/EAJRS Kuzushiji WORKSHOP

NIJL/EAJRS くずし字ワークショップ スケジュール表

欧州中央夏時間	4 月 19 日(水)	4 月 20 日(木)	4 月 21 日(金)
10:00-10:30 17：00～	説明と自己紹介		
10:30-12:00 17：30～19：00	Session 1 古典籍 1（担当：山本和明先生） 『三座せりふよせ』(注1)より一部抜粋 https://cudl.lib.cam.ac.uk/view/PR-FJ-00722-00008/1	Session 3 古典籍 3（担当：山本和明先生、太田尚宏先生） 『忝入江戸大絵図』(注1)ほか https://cudl.lib.cam.ac.uk/view/MS-FJ-00120-00036/1	Session 5 古文書 1（担当：太田尚宏先生） 徳川家綱、綱吉の手紙(注2) 蜷川家由緒書(注3) 1
12:00-13:00	休憩	休憩	休憩
13:00-14:30 20：00～21：30	Session 2 古典籍 2（担当：山本和明先生） 『戯場風俗/絵本栄家種』(注1) https://cudl.lib.cam.ac.uk/view/PR-FJ-00720-00002/1	Session 4 古典籍 4（担当：山本和明先生、太田尚宏先生） 『小金原御猪狩之図』(注1) https://cudl.lib.cam.ac.uk/view/MS-FJ-00980-00009/1	Session 6 古文書 2（担当：太田尚宏先生） 蜷川家由緒書(注3) 2
14:30-			懇親会

(注1) ケンブリッジ大学図書館所蔵資料、(注2) 国文学研究資料館所蔵資料、(注3) 国立公文書館所蔵資料

日本標準時との時差＋7時間

NIJL/EAJRS Kuzushiji WORKSHOP

くずし字一覧表

■は現在のひらがなの字母（元になった漢字）

あ	安	阿	
い	以		
う	宇		
え	衣	江	
お	於		
か	加	閑	
か	可		
き	幾		
き	支	起	
く	久		
く	具		
け	計	希	
け	介		
け	遣		
け	気（氣）		
こ	己	古	
さ	左	佐	
し	之		
し	志		
す	寸		
す	春	寿	
す	須		
せ	世		
せ	勢		
そ	曾	楚	所
た	太	多	
た	堂		
ち	知		
つ	川	徒	
つ	津		
て	天	帝	
と	止		
と	登		
な	奈		
な	那		
に	仁	丹	
に	尓（爾）		
に	耳		
ぬ	奴		
ぬ	怒		
ね	祢（禰）		
ね	年		
の	乃		
の	能		
の	農		
は	波	八	
は	盤		
は	者		
ひ	比		
ひ	飛		
ひ	日	悲	
ふ	不		
ふ	布	婦	
へ	部		
へ	遍		
ほ	保		
ほ	本		
ま	末		
ま	万		
ま	満		
み	美		
み	見	三	
む	武		
む	無	舞	
め	女	免	
も	毛		
も	裳		
や	也	屋	
ゆ	由		
ゆ	遊		
よ	与		
ら	良		
ら	利		
ら	羅		
り	里	梨	
り	留		
る	類		
る	流	累	
る	礼（禮）		
れ	連		
ろ	呂		
ろ	路		
わ	和	王	
わ	為		
ゐ	井		
ゑ	恵		
ゑ	衛		
を	遠		
を	越		
を	乎		
ん	无		

合字（ごうじ）

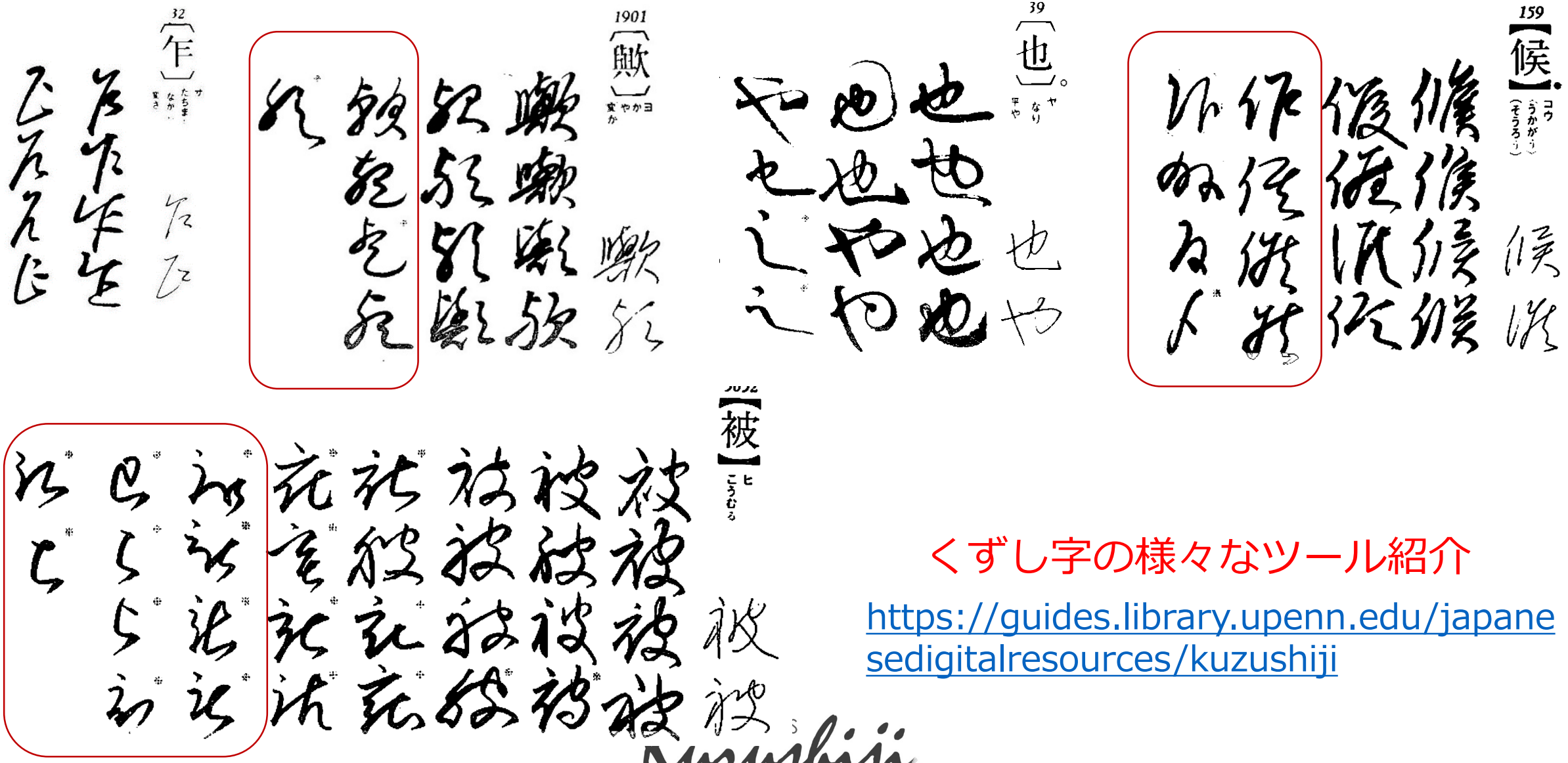
こと	

踊り字（おどり字）

ゝ	＊同一文字の繰り返し
〱	＊同一語句の繰り返し

DLサイト

覚えておくと宜いくずし字



くずし字の様々なツール紹介

https://guides.library.upenn.edu/japanesedigitalresources/kuzushiji

Kuzushiji WORKSHOP

くずし字を読むには

○異体字を知ること・慣れる

○旧漢字のくずし字の可能性も留意すること

○意味を考えつつ、字を読むこと（知らないことばの可能性を想定する）切れ目が難

○素材の特徴を考えること

版本／写本　韻文／散文

流通するもの／仲間内

○会話は要注意！

NIJL/EAJRS Kuzushiji WORKSHOP

根源今川状　書物づくしせりふ

一〇八八　三座せりふよせ（書外題）三巻 FJ_722_8

〔享保～寛保〕刊（刊年不同）半合三冊

※七九点セリフ本綴合せ。外題・刊年推定は鳥越文蔵『ヨーロッパの日本近世演劇資料』（『演劇学』第六号）及び『歌舞伎年表』『歌舞伎評判記集成』による。（印記）「福田文庫」。

根源今川状　第壱番目（書物づくしせりふ）
市村座
今川中秋　市川弁五郎
さかい丁／中嶋屋（伊左衛門）／はんもと
〔享保十九年刊〕江戸

◆福田文庫

蔵書印主　福田敬園（ふくだけいえん）
人物情報　幕府味噌御用達の商人(三村竹清「本の話」)。丸山季夫は「静嘉堂蔵書印譜」に、この印は福田敬同、号槐尚軒、山名義理二二代目所用、とされる。（「近代蔵書印譜」による）

NIJL/EAJRS Kuzushiji WORKSHOP

せりふ正本（薄物正本）

江戸では、一人の役者の、ある長ぜりふを単独で一冊にして出版がおこなわれていった。

歌舞伎には「つらね」や「厄払い」という長せりふがあり、それが様式的な演劇性を引立たせるといるのだが、この長せりふは、**一つの役者の芸として江戸で急成長した**ようである。京都や大坂では、写実性の高い演技手法であったから、様式的なせりふ芸は江戸の特徴といえる。

形態上は厚紙の表紙はなく、半丁一枚の本文と同じ料紙を用いた表紙（共紙表紙）をつけ、全体を紙縒りで綴じて出版したもので、二丁から数丁の出版物であったから別名「**薄物正本**」とも呼ばれている。正本とは根拠となる原本に忠実であるという意味からの呼称である。これらは現在合冊編集された形のせりふ正本集として残っていて、最初に表紙があったか否かの判断はつけ難いものが多い。

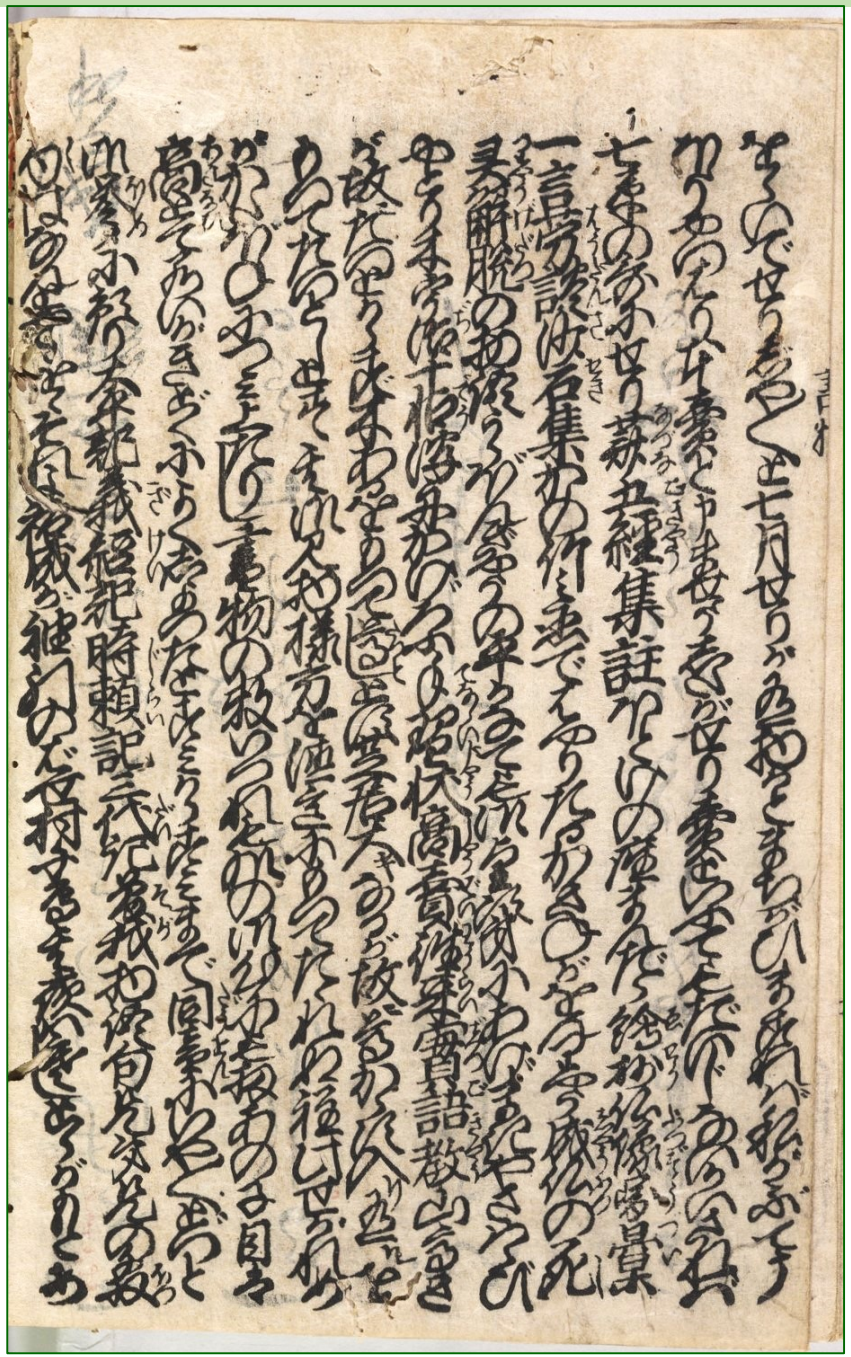
表紙は墨摺ではあるが、意匠を凝らした文字や絵のデザインが見られる。

元禄歌舞伎が初代市川団十郎や中村七三郎の死去によって幕を閉じ、世代交代が進み始めた宝永六年、「傾情雲雀山」において二代目市川団十郎が艾（もぐさ）売りのせりふを演じ大当りをとる。これをきっかけに、せりふ集「せりふ大全」が刊行され、**世相を反映した物売りのせりふを流暢に言立てるせりふ芸流行**期がおとずれ、以降、二代目団十郎の活躍期を通じて江戸歌舞伎ではせりふ芸が大流行した。正徳から明和期には、ちょうど役者絵の商業出版体制が整ったのに合わせて、**そのせりふの場面の絵を描いた表紙を必ず伴ったせりふ正本**が続々と出版されるのであった。

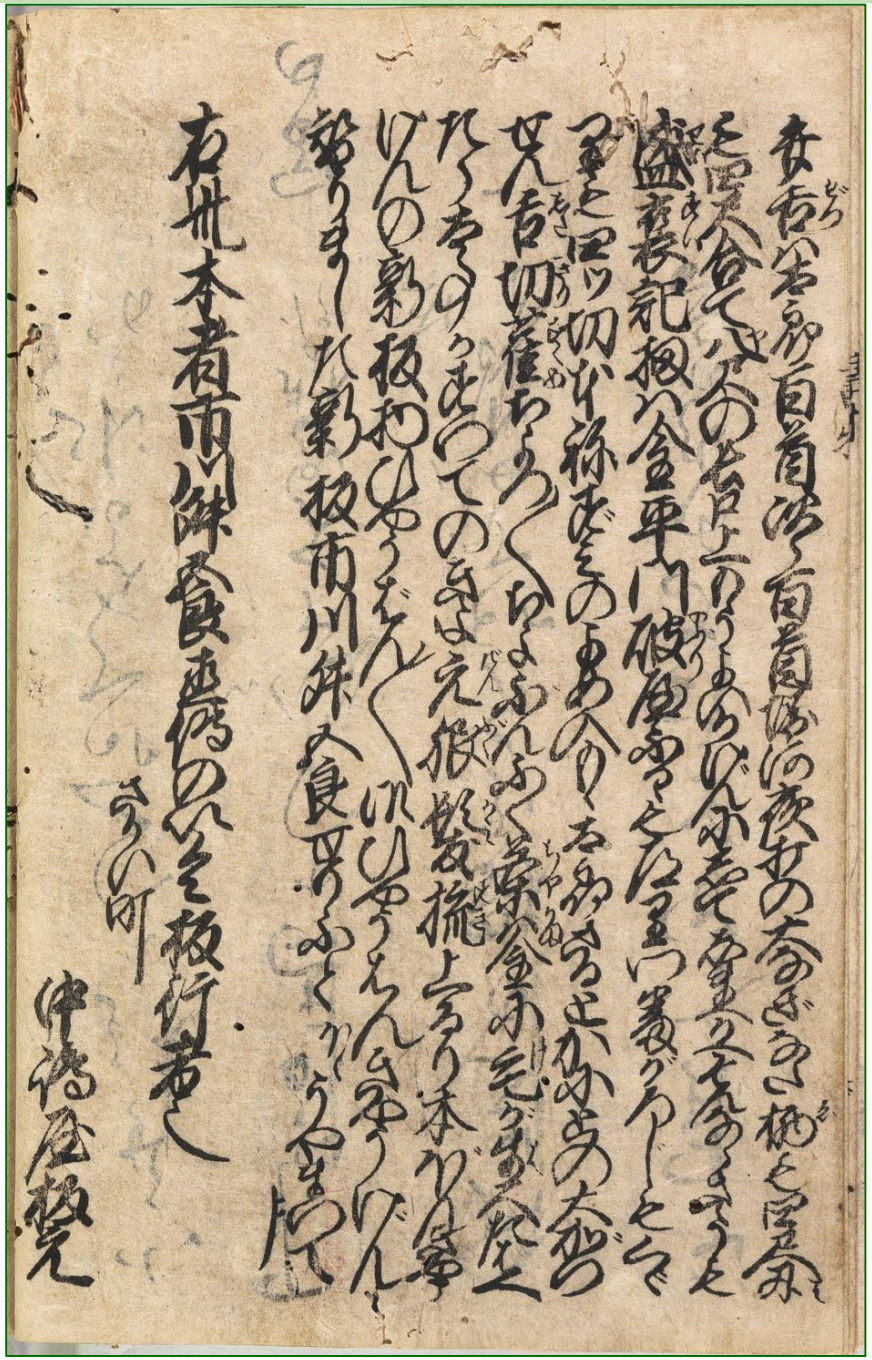
元禄期から安永期までのせりふ芸は、芝居の筋とはあまり関連しない内容を、しぐさ、つまり仕方芸を伴って、朗々と言い立てるものである。非常に音楽性の高い「つらねせりふ」であり、歌や浄瑠璃ではないものの、聞いている観客はその言立てにうっとりとさせられるという種類のものであった。　（赤間亮氏の解説を加工）

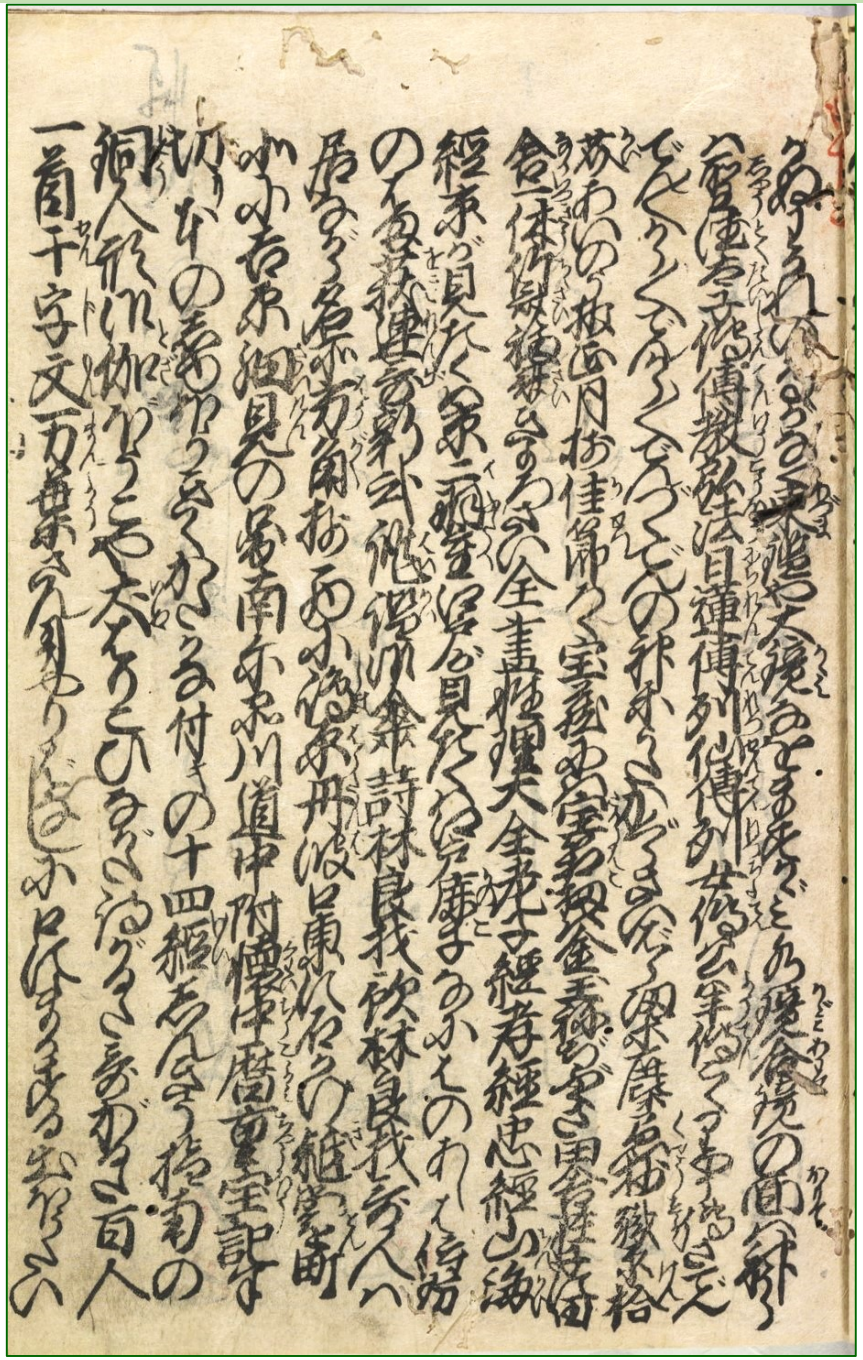
NIJL/EAJRS Kuzushiji WORKSHOP

【本文】



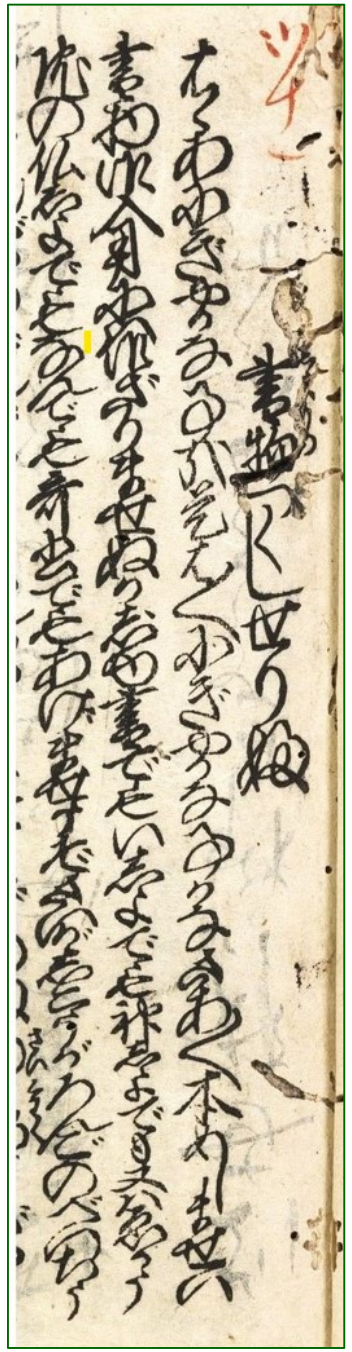
NIJL/EAJRS
Kuzushiji
WORKSHOP





NIJL/EAJRS
Kuzushiji
WORKSHOP

《課題》



①書物づくしせりふ

②［　　］にぎやかな事かな、さあ／＼本めしませい、

③［　　］には御ざりませぬか、じゅ書でも、いしよでも、神しよでも、又はゑかう

④院（回向院）の仏しよでも、なんでも［　　］でもあげませうぞ、さいがしこう（宰我・子貢：孔門十哲）がろんごのべつちう（論語の別註）、

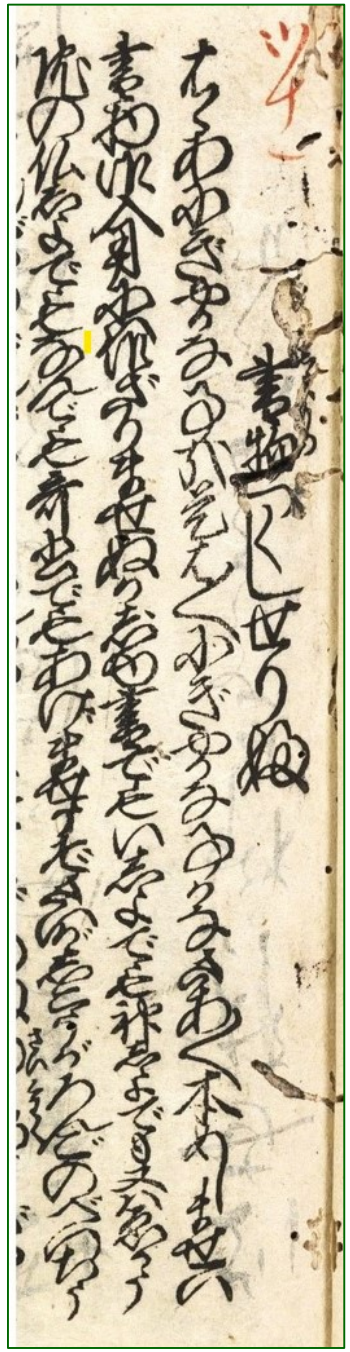
NIJL/EAJRS Kuzushiji WORKSHOP

①書物づくしせりふ

②はゝあ、にぎやかな事哉、
是は／＼にぎやかな事かな、
さあ／＼本めしませい、

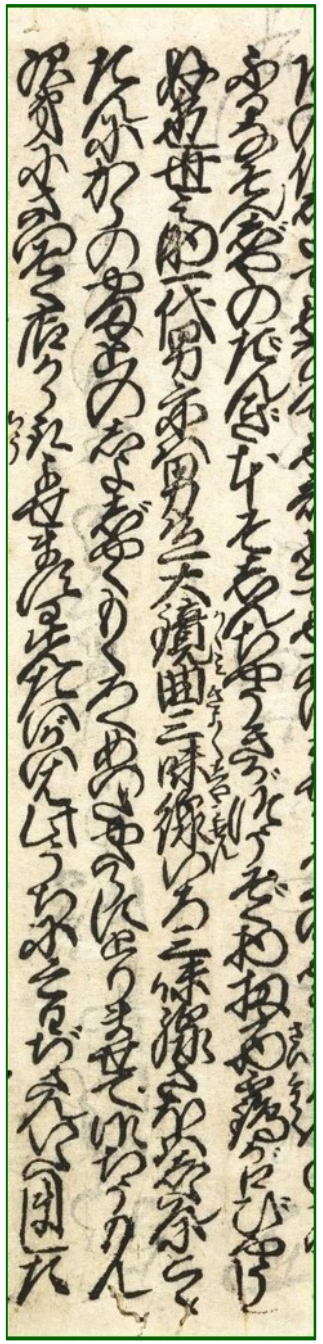
③書物御入用には御ざりませ
ぬか、じゅ書でも、いしよで
も、神しよでも、又はゑかう

④院（回向院）の仏しよでも、
なんでも奇書でもあげませう
ぞ、さいがしこう（宰我・子
貢：孔門十哲）がろんごのべ
つちう（論語の別註）、



NIJL/EAJRS Kuzushiji WORKSHOP

《課題》



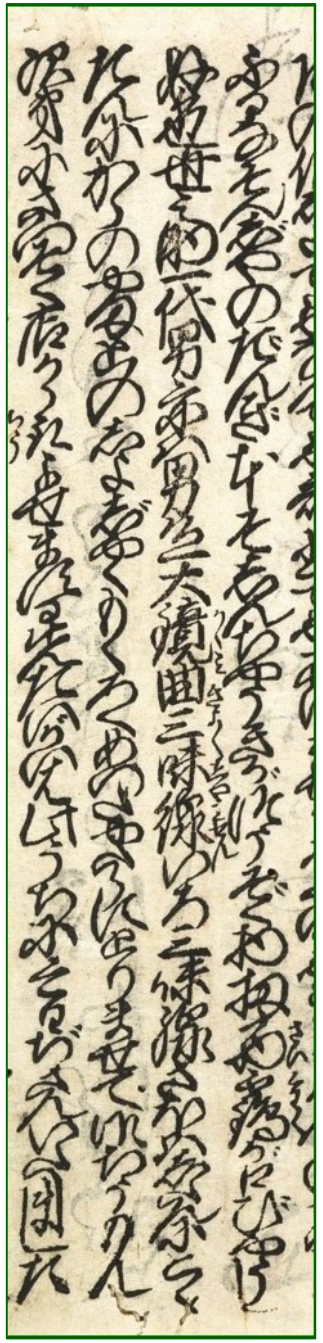
①ふるなそんじゃ（富楼那尊者）のだんぎ本、そしんちやうき（蘇秦・張儀）がつうぞく物、扨西鶴が口びやうし

②□、曲三味線、いろ三味線、さほはしたん（紫檀）に亙は□こく

③たん（黒檀）に、□□、めつたやたらにとりまぜて、御□

④次第にさつそく店から□ちに□、先たいがいは此う□、

NIJL/EAJRS Kuzushiji WORKSHOP



①ふるなそんじや（富楼那尊者）のだんぎ本、そしんちやうき（蘇秦・張儀）がつうぞく物、扨西鶴が口びやうし

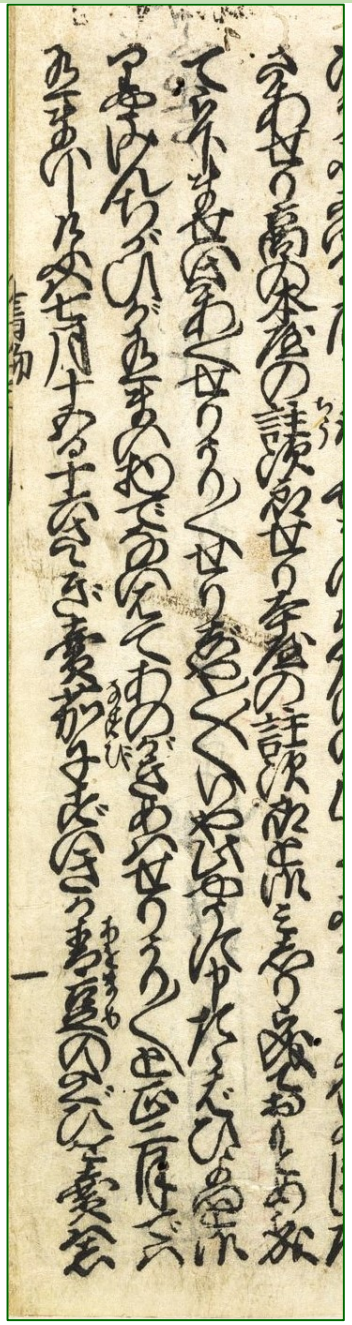
②好色世之介一代男、亦は男色大鏡、曲三味線、いろ三味線、さほはしたん（紫檀）にこく

③たん（黒檀）に、からのやまとのしよじやくもくろく（書籍目録）、めつたやたらにとりまぜて、御ちうもん

④次第にさつそく店から取よせまする、先たいがいは此うちに今日ぢさんいたしました、

NIJL/EAJRS Kuzushiji WORKSHOP

《課題》



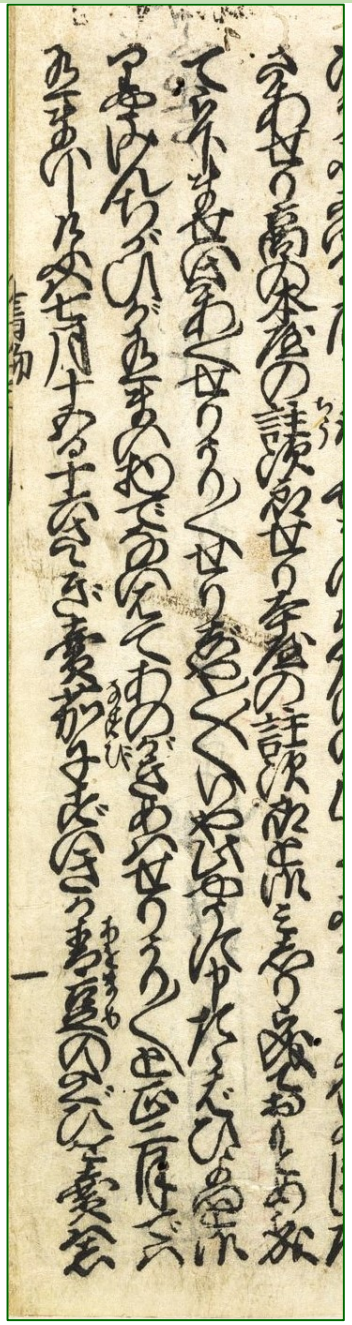
①さあ、せり高の本屋の註次郎、せり本屋の註次郎と□□おもとめ被成

②て□、さあ／＼せりうり／＼せりじや／＼／＼いや此やうに申たゝば、ひよつと御

③□が□、はてあのがきめは、せりうり／＼と正二月では

④有まいし、けふは七月十五日、十六さゝぎ売、茄子、ずいきか青豆のたぐひを売は、し

NIJL/EAJRS Kuzushiji WORKSHOP



①さあ、せり高の本屋の註次郎、せり本屋の註次郎と御みしり被成ておもとめ被成

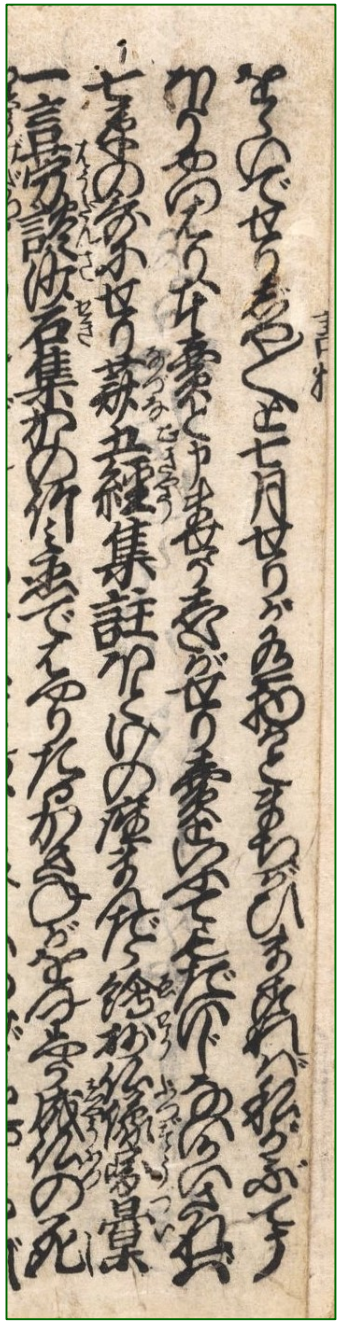
②て被下ませい、さあ／＼せりうり／＼せりじや／＼／＼／＼いや此やうに申たゝば、ひよつと御

③りやうけんちがひが有まい物でない、はてあのがきめは、せりうり／＼と正二月では

④有まいし、けふは七月十五日、十六さゝぎ売、茄子、ずいきか青豆のたぐひを売は、しし

NIJL/EAJRS Kuzushiji WORKSHOP

《課題》



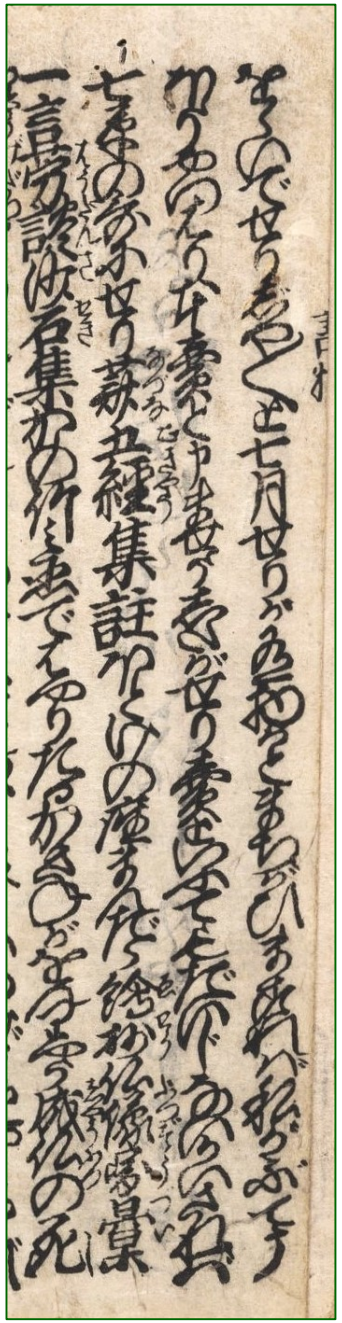
①をらいで、せりじゃ／＼と七月せりが［　　］まちがひますれば、私がぶてう

②ほう（不調法）、やつぱり［　　］、したが、せり売といふてもだいじないかい、されば

③［　　］にせり薺、五経集註・［　　］（七草の一種）・まんだら絵抄・仏像図彙・

④一言芳談・沙石集、かの竹之丞ではやりたる、［　　］成仏の、死

NIJL/EAJRS Kuzushiji WORKSHOP



①をらいで、せりじや／＼と七月せりが有物かとまちがひますれば、私がぶてう

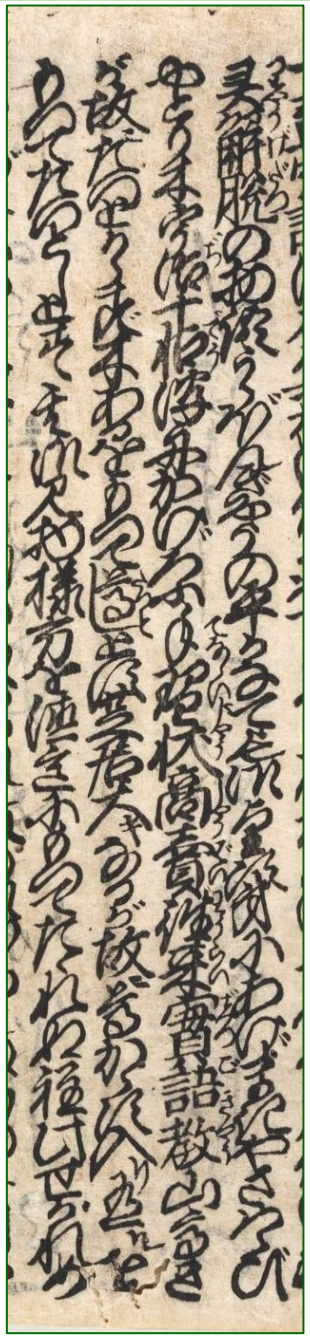
②ほう（不調法）、やつぱり本売と申ませう、したが、せり売といふてもだいじないかい、されば

③七草の歌にせり薺、五経集註・ほとけの座（七草の一種）・まんだら絵抄・仏像図彙・

④一言芳談・沙石集、かの竹之丞ではやりたる、かさねがをんりやう成仏の、死

NIJL/EAJRS
Kuzushiji
WORKSHOP

《課題》



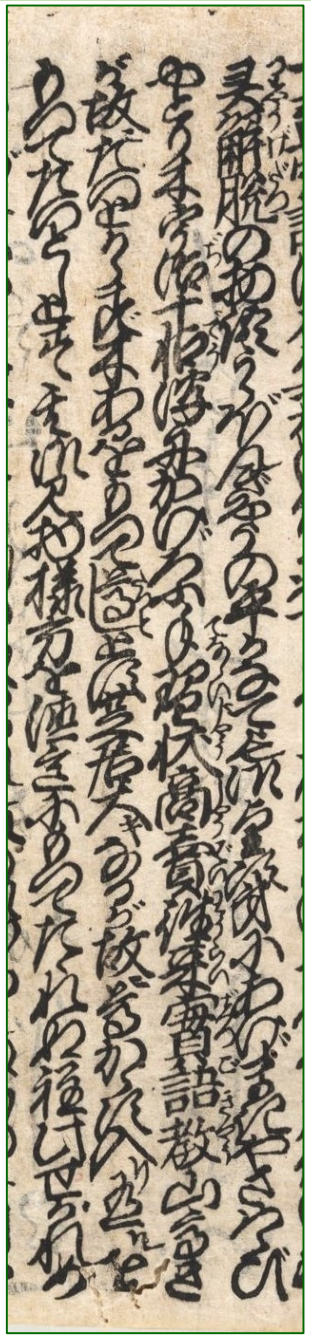
①霊解脱の□、□、□にあげまきや、さはらび、

②やどり木、宇治十帖、浮舟、かげろふ、手習状、商売往来、実語教、□

③□、□、□

④□、其御見物様方を□にもつてたゝれぬ程、此せがれめ

NIJL/EAJRS Kuzushiji WORKSHOP



①霊解脱の物語、うらぼんぎやうの平かなでも、御望次第にあげまきや、さはらび、

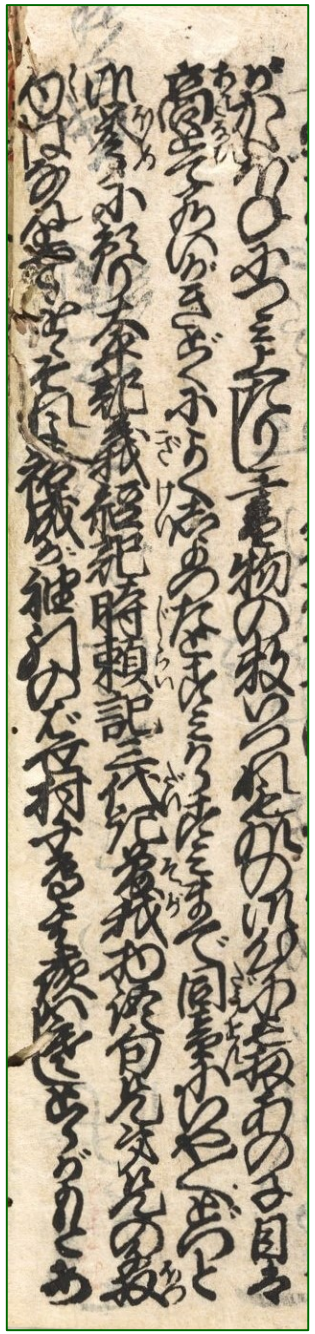
②やどり木、宇治十帖、浮舟、かげろふ、手習状、商売往来、実語教、山高き

③が故たつとからず、木あるをもつて尊しとす、芝居大きなるが故に尊からず、入り有るを

④もつてたつとしとす、其御見物様方を徳意にもつてたゝれぬ程、此せがれめ

NIJL/EAJRS Kuzushiji WORKSHOP

《課題》



①がかたぼねに、つみ上たりし書物の数、[　　]、扨あの子目は

②商とて、[　　]、よくしよつたと、すみからすみまで同音にいや／＼どつと

③御誉に預り、太平記・義経記・時頼記・三代記・曾我物語・句[　　]、兄の発

④句はなんとやら、をゝそれよ、祐成が[　　]村千鳥、其夜は[　　]とらがもとめ

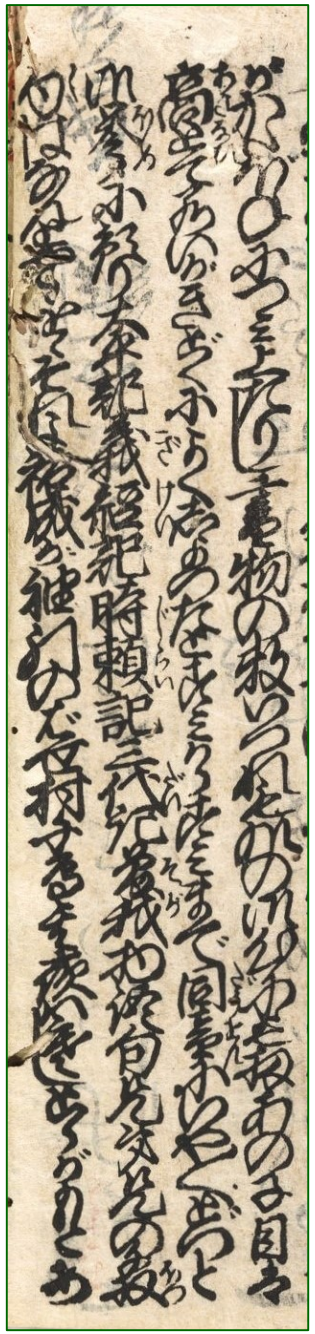
NIJL/EAJRS Kuzushiji WORKSHOP

①がかたぼねに、つみ上たりし書物の数、いづれも様の御心にも、扨あの子目は

②商とて、若いがきどくに、よくしよつたと、すみからすみまで同音にいや／＼どつと

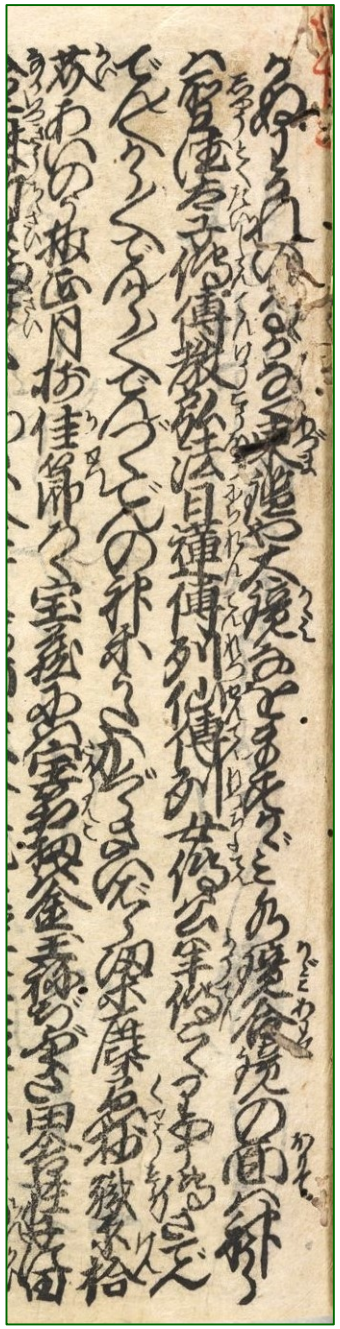
③御誉に預り、太平記・義経記・時頼記・三代記・曾我物語・句兄弟、兄の発

④句はなんとやら、をゝそれよ、祐成が袖引のばせ村千鳥、其夜は寒しとらがもとめ



NIJL/EAJRS Kuzushiji WORKSHOP

《課題》



①かぬ、わかれの鳥がなく東鑑や大鏡、なをますかゞみ、□鏡、合鏡の面は神うら

②は、聖徳太子伝、伝教弘法日蓮伝、列仙伝列女伝、公羊伝、こくりよう伝、さでん

③でん／＼、から／＼、から／＼、でんづゝでんの□、かぐらさいばら、梁塵愚抄、職原、拾

④芥、あいのう抄、正月抄、佳節ろく、宝蔵には宝箱、扨は金玉ねぢぶくさ、田舎荘子に田

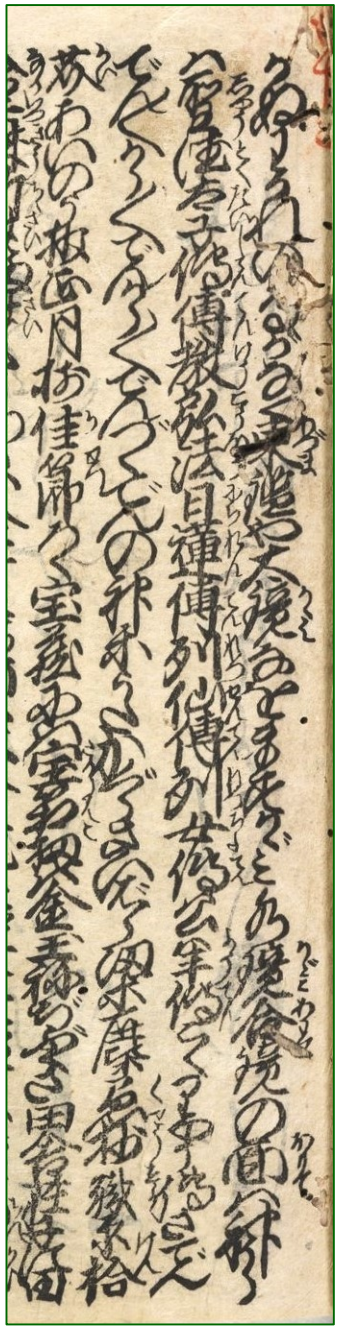
NIJL/EAJRS Kuzushiji WORKSHOP

①かぬ、わかれの鳥がなく東鑑や大鏡、なをますかゞみ、水鏡、合鏡の面は神うら

②は、聖徳太子伝、伝教弘法日蓮伝、列仙伝列女伝、公羊伝、こくりよう伝、さでん

③でん／＼、から／＼、でん、から／＼、でんづゝでんの神楽うた、かぐらさいばら、梁塵愚抄、職原、拾

④芥、あいのう抄、正月抄、佳節ろく、宝蔵には宝箱、扨は金玉ねぢぶくさ、田舎荘子に田

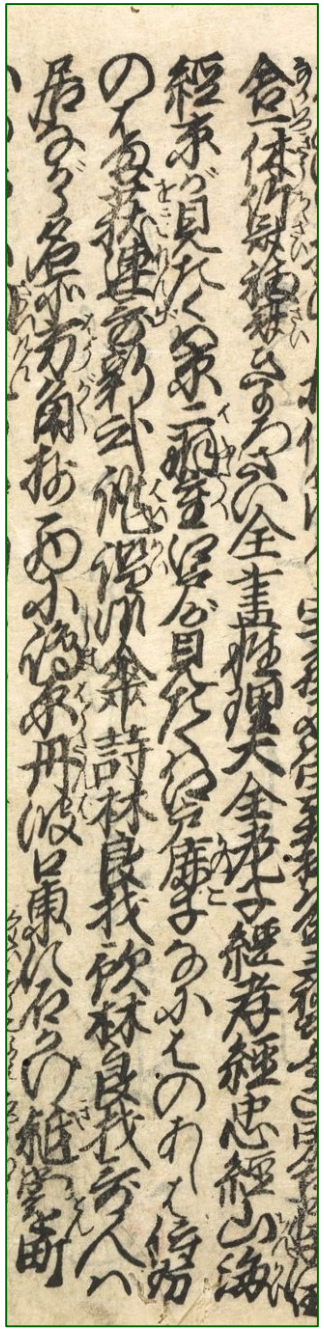


◆**羅列（つらねる）の文体**

近松門左衛門「心中天の網島」橋尽くしなど

NIJL/EAJRS Kuzushiji WORKSHOP

《課題》



①舎一休、竹斎、福斎、きよろさい、全尽、□、老子経、孝経、忠経、山海

②経、□、江戸が見たくは□、なにはのあしは住分

③のはま荻、□、誹諧御傘、詩林良材、歌林良材、歌人は

④居ながら□、西に嶋原、丹波口、東に石かけ祇園町、

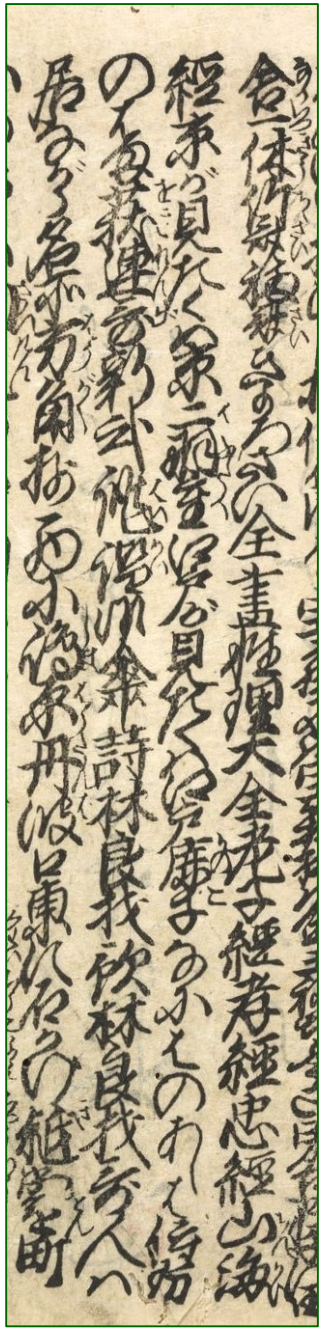
NIJL/EAJRS Kuzushiji WORKSHOP

①舎一休、竹斎、福斎、きよろさい、全尽、性理大全、老子経、孝経、忠経、山海

②経、京が見たくは京二羽重、江戸が見たくは江戸鹿子、なにはのあしは住分

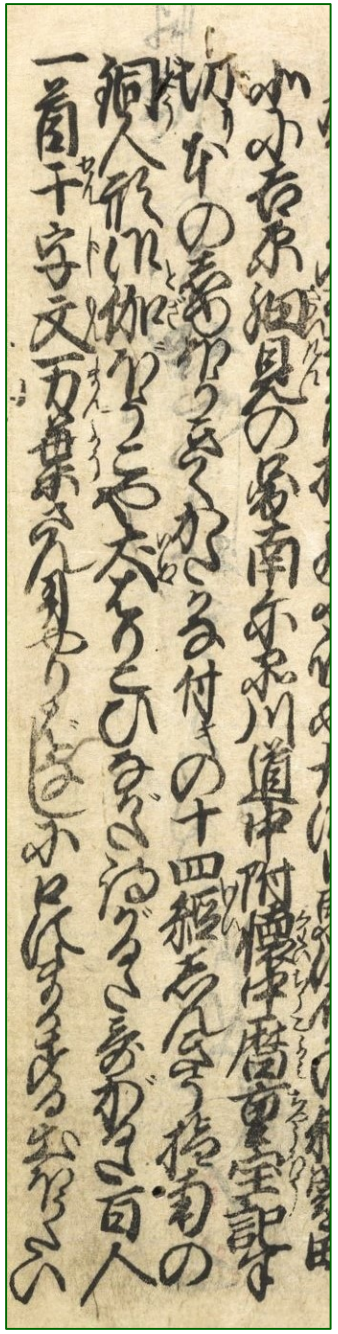
③のはま荻、連歌新式、誹諧御傘、詩林良材、歌林良材、歌人は

④居ながら名所方角抄、西に嶋原、丹波口、東に石かけ祇園町、



NIJL/EAJRS Kuzushiji WORKSHOP

《課題》



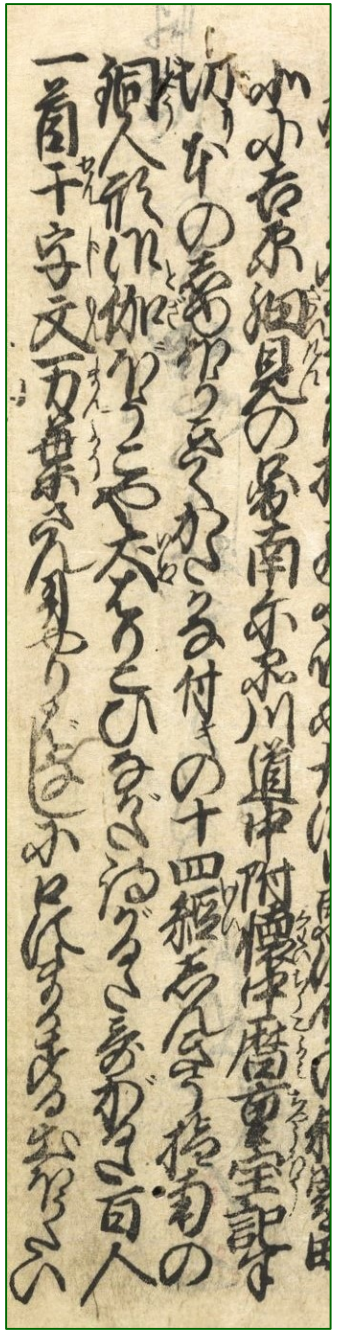
①□、南に品川道中附、懐中暦、重宝記、半

②切り本の□、かたかな付きの十四経、□の

③銅人形、御伽ぼうこや犬はりこ、ひながた、□、歌がるた、百人

④一首、千字文、万葉、□、やりばなしに口にまかする出ほうだい、

NIJL/EAJRS Kuzushiji WORKSHOP



①北に吉原細見の図、南に品川道中附、懐中暦、重宝記、半

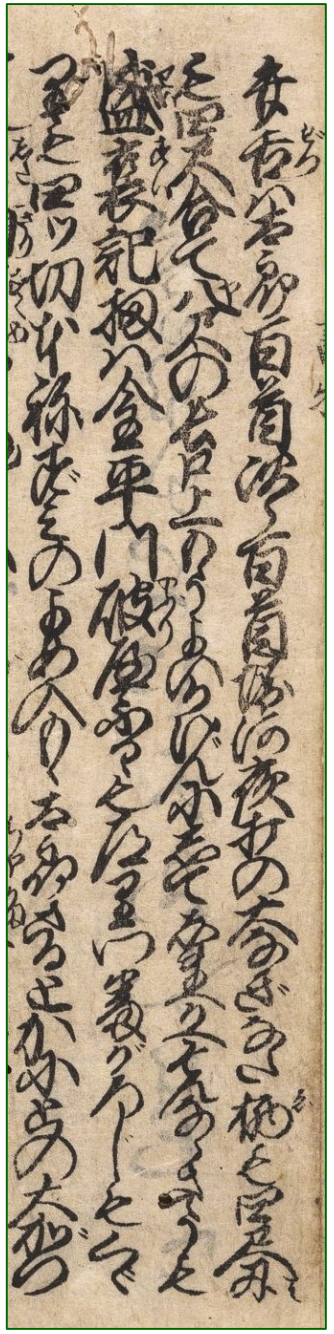
②切り本のしゆほうきく（衆方規矩）、かたかな付きの十四経、しんきう指南の

③銅人形、御伽ぼうこや犬はりこ、ひながた、詩がるた、歌がるた、百人

④一首、千字文、万葉、さん用、やりばなしに口にまかする出ほうだい、

NIJL/EAJRS Kuzushiji WORKSHOP

《課題》



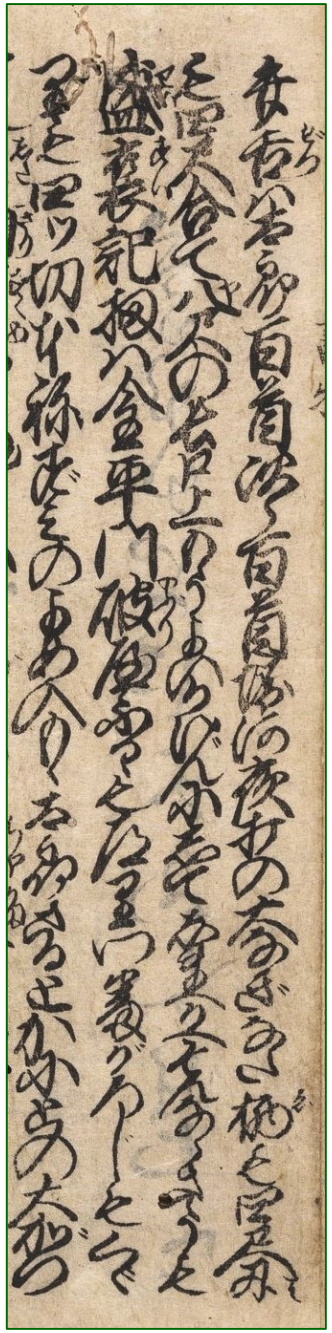
①弁舌は太郎百首、[　]百首、堀河夜打の大なぎなた、柄も四尺刃

②も四尺、合て八尺の長口上、[　]

③盛衰記、扨は金平門やぶり、やぶるも[　]門番がろじもくゞ

④りも四ツ切本、[　]、さるとかにとの大がつ

NIJL/EAJRS Kuzushiji WORKSHOP



①弁舌は太郎百首、次郎百首、堀河夜打の大なぎなた、柄も四尺刃

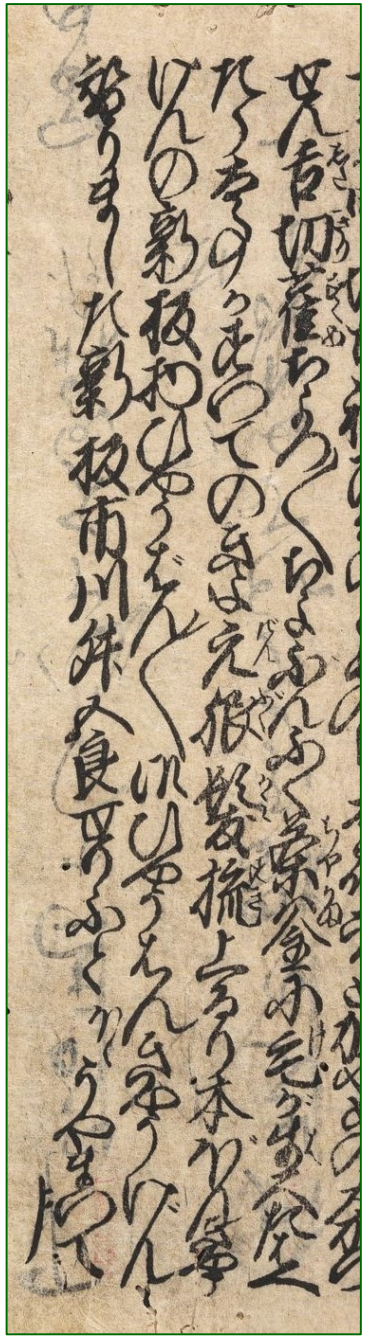
②も四尺、合て八尺の長口上、もうよいかげんにしてしまへかへ、そんならさうも

③盛衰記、扨は金平門やぶり、やぶるも道り門番がろじもくゞ

④りも四ツ切本、ねづみのよめ入、もゝ太郎、さるとかにとの大がつ

NIJL/EAJRS Kuzushiji WORKSHOP

《課題》



①せん、舌切雀ちよつ／＼ちよ、ぶんぶく茶釜に毛が生へた、はへ

②たら□、かすつてのきよ元服髪梳上るり本、□

③□の新板物、ひやうばん／＼御ひやうばん、きやうげん

④替りました新板市川舛五郎せりふと、□

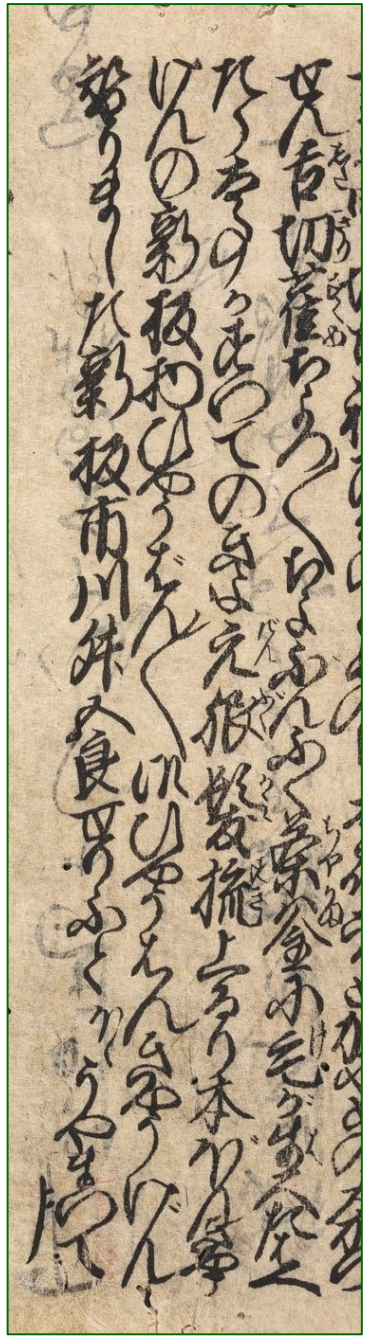
NIJL/EAJRS Kuzushiji WORKSHOP

①せん、舌切雀ちよつ／＼ちよ、ぶんぶく茶釜に毛が生へた、はへ

②たら大事、かすつてのきよ元服髪梳上るり本、ぼんきやう

③げんの新板物、ひやうばん／＼御ひやうばん、きやうげん

④替りました新板市川舛五郎せりふと、ほゝうやまつて申



NIJL/EAJRS Kuzushiji WORKSHOP

《課題》

①

②さかい町　中嶋屋板元

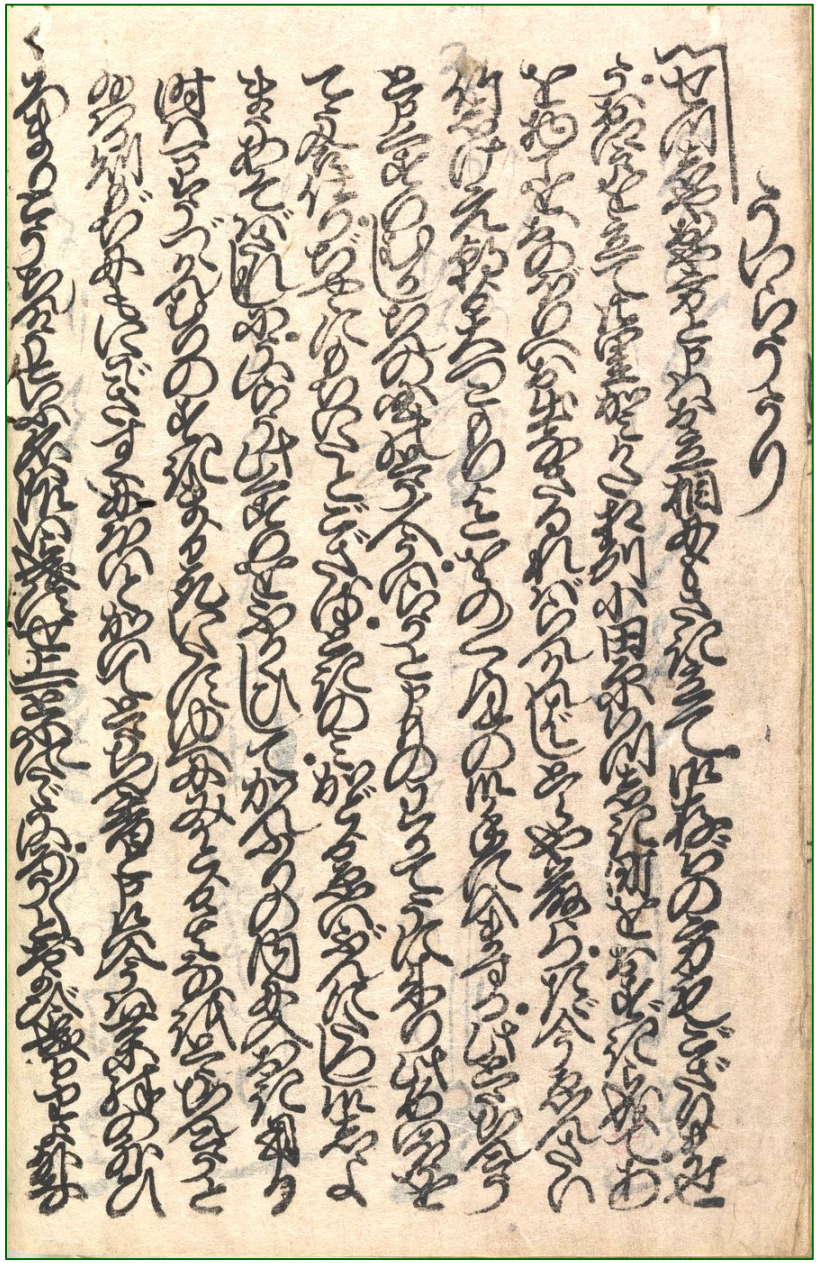
NIJL/EAJRS Kuzushiji WORKSHOP

①右十（卅）本者市川舛五郎
直伝の以具（そなえをもっ
て）板行者也

②さかい町　中嶋屋板元

NIJL/EAJRS
Kuzushiji
WORKSHOP

〈追加〉 つらねの一例



追善彼岸桜 外郎売

市川団十郎せりふ

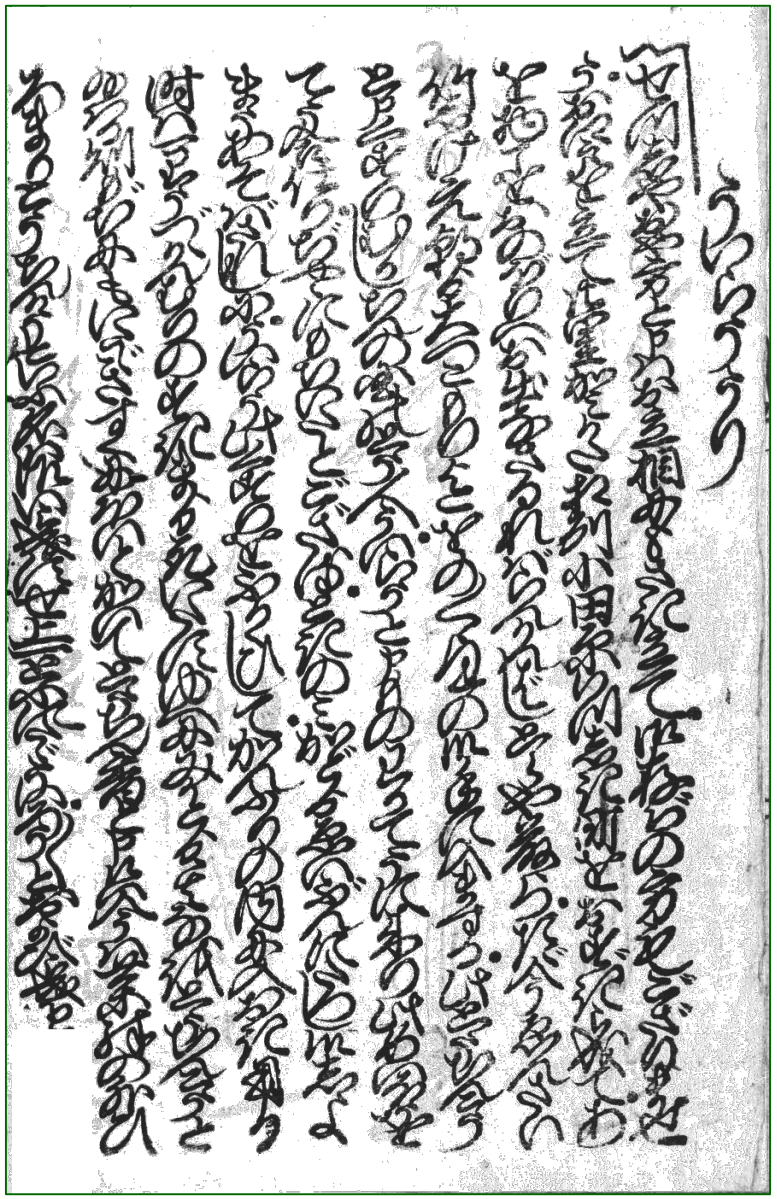
中村座

湯島天神　女坂下　小松屋

〔享保十一年〕

NIJL/EAJRS
Kuzushiji
WORKSHOP

《課題》



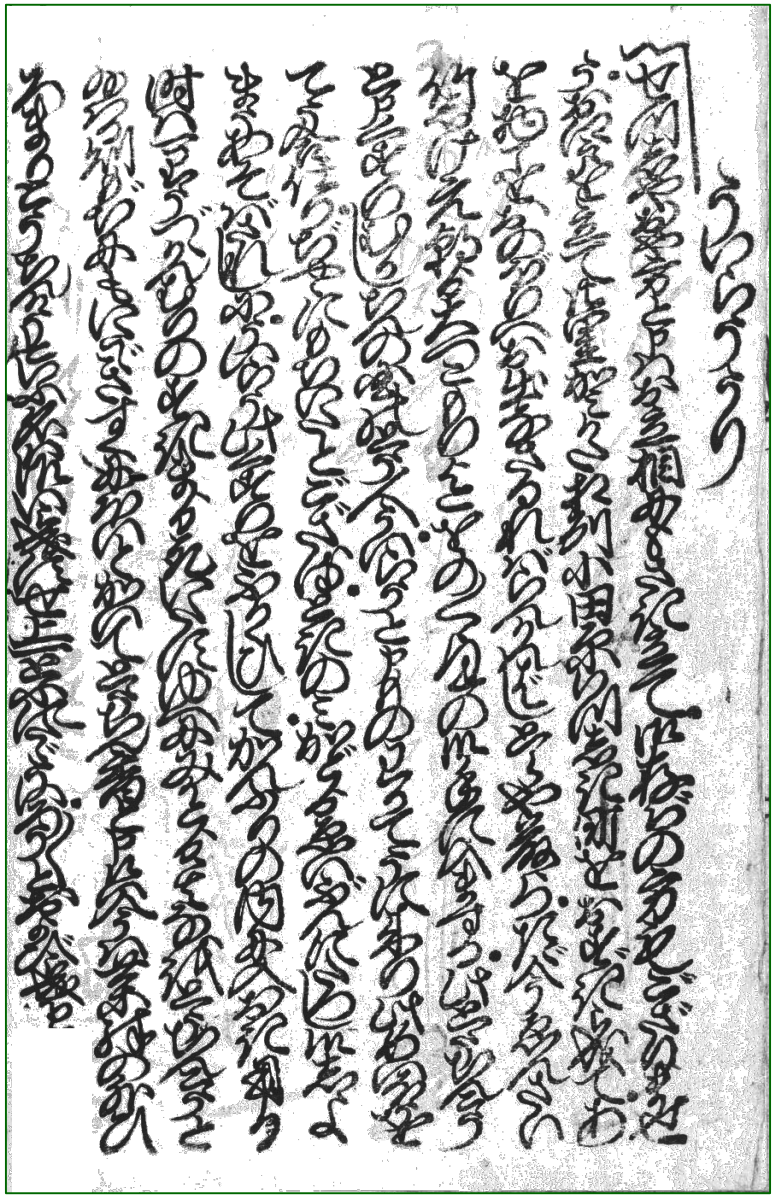
ういらううり（外郎売）

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

http://www1.odn.ne.jp/seiyukenkyujo/uirouuribunsho.htm

NIJL/EAJRS Kuzushiji WORKSHOP

ういらううり（外郎売）



①〻せつしゃおや方と申は、お立相にもさき立て、御存ぢの方もござりませ
②う、お江戸を立て廿里、かみがた、相州小田原、いつしき町をおすぎ**被成て**、あ
③を物丁をおのぼりへお出なさるれば、らんかんばしとらや**藤へ門**、たゞ今ゑんさい
④竹しげ、元朝より大つごもり迄、をの／＼様の御手に入まする、此とうちんこう
⑤と申くすり、むかしちんの国のとう人、ういらうと申もの、わがてうに来り、此めいほうを
⑥てう合仕り、ぢやゝにもちいたとござる、ときのみかどよりゑいぶんにたつし、御しよ
⑦まうあそばされしに、ういらう此くすりをふかくひして、かんぶりの内に入おき、用る
⑧時は一りうづゝ、かんむりのすきまより取いだすゆへに、みかどより其なをとうちんこうと
⑨給はる、則もぢにも、いたゞき、すく、にほいとかいて、とうちん香（頂透香）と申、只今は薬、殊の外ひ
⑩ろまり、とうちんかうといふ名は御い被成ず、世上一どふにたゞういろう／＼とおよび**被成申**

http://www1.odn.ne.jp/seiyukenkyujo/uirouuribunsho.htm

NIJL/EAJRS Kuzushiji WORKSHOP

東京大学文学部所蔵歌舞伎関係資料
https://www.l.u-tokyo.ac.jp/digitalarchive/collection/kabuki.html

早稲田大学演劇博物館デジタルアーカイブ
https://www.waseda.jp/enpaku/db/
伊勢辰旧蔵『風俗資料貼込帖』など

国立劇場歌舞伎情報サイト
https://www.ntj.jac.go.jp/kabuki/

法政大学能楽研究所
https://nohken.ws.hosei.ac.jp/archives/index.html

文化デジタルライブラリー
https://www2.ntj.jac.go.jp/dglib/

NIJL/EAJRS Kuzushiji WORKSHOP

それではこのセッションを終わりにします

NIJL/EAJRS Kuzushiji WORKSHOP